国県事業対策課 課かい名

国県事業対策課 基礎情報 実施計画 平成20年度評価 平成21年度計画 今後の事業展開 事後評価 事務事業 実績 第4次 第5次 活動 決算内訳(千円) 活動 予算内訳(千円) 必要性 事業手法 事業の改善提案 ける課の重点事 活動量・サービス量の達成状況 (顧客) **当該事務事業** 活動量・サービス量 実施計画 事業名 活動ごとの 事務事業の目的に 事務事業の 実施計画 事業の の取組 事務事業名 体の決算額 事業名 決算額 する成果の状況 予算額 方向性 活動 (合計) 変更の有無 改善の内容 目標値 目標値 活動指標の名称 実績値 49,657 66,17 49,65 66,1 **相模川を渡河する橋** いまう部のポトルネック による国道134号 新湖南国道 適切に要望活動を 行っており、成果が 出ている。 未 高 高 高 現状維 6 新湘南国道 I 期事業の促進 予算なし 1 総 (I期)の Α なし 整備促進 事業の早期整備の実 丘隣市町との 1隣市町との 新湘南国道 国・県・関係 国・県・関係 連携を図り、早期整備の促 6 新湘南国道 II 期事業の促進 連携を図り、 (Ⅱ期)の 機関への要望 年10回 年10回 機関への要望 年10回 なし 早期整備の促 整備促進 活動 活動 進要望を行う 進要望を行う 新湘南バイパス料金 引き下げにより、通 通交通車両を市内の 一般道路から、新湘 南バイパスへ誘導す ることによる渋滞緩 和を図る 適切に要望活動を 行っており、成果が 出ている。 パスの料金 6 新湘南国道 I 期事業の促進 予算なし 現状維 2 総 Α なし 引き下げの 推進 国・県・関係 機関との連携 国・県・関係 新湘南バイ パスの料金 引き下げの 機関との連携 を図り、更に 国・県・関係 6 新湘南国道Ⅱ 期事業の促進 予算なし を図り、料金引き下げの推 機関への要望 活動 市民・地域と 不 | 必 | 不 | 不 | 無 | なし 2 年5回 年5回 機関への要望 年10回 ともに料金引 き下げの要望 活動 推進 進を行う を行う は、道路幅量が4m に満たない箇所もあるなど狭く、普通車 の相互交通もままな らない状況であり、 さがみ縦貫道 適切に要望活動を 藤沢大磯線 路及び藤沢大磯線の整備促 現状維 3 総 行っており、成果が出ている。 Α なし の整備促進 通渋滞は深刻であり、この渋滞解消の ため都市計画道路藤沢大磯線の早期整備 の実現を図る 丘隣市町との 1隣市町との さがみ縦貫道 路及び藤沢大 国・県・関係 機関への要望 国・県・関係 連携を図り、 連携を図り、 予算なし 3 年20回年20回 機関への要望 年20回 2 機線の整備促 なし D整備促進 早期整備の促 早期整備の促 活動 活動 進要望を行う 進要望を行う さがみ縦貫道 説明会、意見 説明会、意見 説明会、意見 交換会の開催 藤沢大磯線 説明会、意見 路及び藤沢大磯線の整備促 予算なし 3 交換会の開催 年10回年10回 交換会の開催 年10回 なし の整備促進 交換会の開催 回数 回数 大山街道(伊 勢原藤沢線) 大川街道(伊 さがみ縦貫道 路及び藤沢大 磯線の整備促 県・関係機関 県・関係機関 勢原藤沢線) 予算 なし 籐沢大磯線 の管理、方向性について調 との意見交換 の管理、方向 性について調 年5回 上の意見交換 年5回 3 年5回 なし の整備促進 の開催 の開催 2 さがみ縦貫道 路及び藤沢大 磯線の整備促 **藤沢大磯線** 調整会議の開 調整会議の開 予算 なし 年5回 3 地元調整 年5回 地元調整 年5回 なし の整備促進 伊勢原線氷線 (遠 藤孝ヶ崎線から丸子 中山茅ヶ崎線まで の) の移管について は、平成21年度末 に藤沢大磯線が暫定 整備される予定ヶの り(丸子中山原茅ヶ崎 線から相模線に割物を 線かの6相模線に割物を 線の2000を経りに割数を 尹勢原藤沢 適切に要望活動を 行っており、成果が 出ている。 現状維 4 総 線の移管の Α なし 調整検討 線)整備後に調整、 検討を図る P勢原藤沢 予算 なし 庁内会議調整 庁内会議調整 年5回 年5回 年5回 なし 線の移管の 庁内調整 庁内調整 の開催回数 の開催回数 調整検討

国県事業対策課 課かい名

国県事業対策課 基礎情報 実施計画 平成20年度評価 平成21年度計画 今後の事業展開 事後評価 事務事業 実績 第4次 第5次 活動 決算内訳(千円) 活動 予算内訳(千円) 必要性 事業手法 事業の改善提案 ける課の重点事 (顧客) 活動量・サービス量の達成状況 活動量・サービス量 実施計画 事業名 活動ごとの 事務事業の目的に 事務事業の 実施計画 事業の 事務事業名 体の決算額 決算額 する成果の状況 方向性 活動 (合計) 変更の有無 改善の内容 活動指標の名称 目標値 実績値 目標値 66,17 49,657 49,65 尹勢原藤沢 関係機関との 調整回数 関係機関との 調整 関係機関との 関係機関との 年3回 4 線の移管の 年3回 年3回 なし 調整検討 新湘南国道の改良促 進、西湘バイパスへ 位びに藤沢 適切に要望活動を 行っており、成果が 出ている。 大磯線(湘南新道)新 6 新湘南国道Ⅱ 期事業の促進 現状維 5 総 152 Α 120 なし 设改良促進 協議会 **近湖南国道** 並びに藤沢 関係機関への 年5回 協議会の参加 関係機関への 要望活動 大磯線(湘 新湘南国道Ⅱ 120 6 期事業の促進 5 及び負担金の 年5回 年5回 152 及び負担金の | 無| なし 維持 南新道)新 要望活動 支出 設改良促進 協議会 湘南、県央、多摩地 2 さがみ縦貫道路及び藤沢大磯線の整備促 道路利 用者及 び沿線 び沿線 住民 さがみ縦貫 道路の整備 促進 さがみ縦貫 道路の整備 促進 適切に要望活動を 未 高 高 高 現状維 持 6 行っており、成果が出ている。 なし 道路の整備 促進 近隣市町との 連携を図り、 早期整備の促 さがみ縦貫道 路及び藤沢大 磯線の整備促 国・県・関係 機関への要望 活動 年20回 年20回 国・県・関係 さがみ縦貫 連携を図り、早期整備の促 道路の整備 促進 機関への要望 活動 年20回 6 なし 進要望を行う 進要望を行う 2 さがみ縦貫道路及び藤沢大磯線の整備促 説明会、意見 说明会、意見 説明会、意見 交換会の開催 説明会、意見 交換会の開催 予算なし 道路の整備 促進 交換会の開催 回数 交換会の開催 年10回 回数 6 年10回 年10回 なし さがみ縦貫道 路及び藤沢大 磯線の整備促 さがみ縦貫 調整会議の開 年10回 予算 なし 調整会議の開 6 地元調整 年10回年10回 地元調整 なし 道路の整備 自都圏中央 車絡白動車 道路利 用者及 び沿線 住民 首などの供 CO2の削減、騒音・振動の低減 現状維 なし 用開始に伴 う環境負荷 の軽減 都圈中央 国・県及び関 連絡自動車 係機関と連携 道などの供 用開始に伴 関係機関等へ 不 必 不 不 無 なし を図り環境負 年10回 の要望活動 荷の軽減を行 う環境負荷 り軽減 神奈川県内の首都圏 中央連絡道路 (さが 神奈川 み縦貫道路、横浜環 状道路及び横浜浦南 境路) の建設促進を 市町 部 首都圏中央 連絡道路建 2 さがみ縦貫道 路及び藤沢大 磯線の整備促 適切に要望活動を 行っており、成果が 出ている。 現状維 8 Α 80 80 なし 设促進期成 司盟会 首都圏中央 さがみ縦貫道 協議会の参加 及び負担金の 協議会の参加 関係機関への 要望活動 関係機関への 年5回 路及び藤沢大磯線の整備促 連絡道路建 8 年5回 年5回 及び負担金の なし 設促進期成 同盟会 国道134号の交通 国連134号の交通 容量は限度を超えて いる状況で、歩行者 を含めた安全で円滑 な交通を確保するため、早期整備の実現 を図ること 道路利 用者及 び沿線 住民 国道134 国道134 号の拡幅整 備促進 備促進 国道134号 適切に要望活動を 行っており、成果が 出ている。 の拡幅整備 促進 9 Α なし

課かい名

国県事業対策課 国県事業対策課 基礎情報 実施計画 平成20年度評価 平成21年度計画 今後の事業展開 事後評価 事務事業 実績 第4次 第5次 活動 決算内訳(千円) 活動 予算内訳(千円) 必要性 事業手法 事業の改善提案 ける課の重点事 (顧客) 活動量・サービス量の達成状況 **当該事務事業** 活動量・サービス量 実施計画 事業名 活動ごとの 事務事業の目的に対 事務事業の 実施計画 事業の の取組 事務事業名 ▲体の決算額 予算額 決算額 する成果の状況 方向性 活動 (合計) 変更の有無 改善の内容 目標値 活動指標の名称 実績値 目標値 66,17 49,657 49,65 66,17 丘隣市町との 丘隣市町との 国・県・関係 機関への要望 国道134号 国・県・関係 連携を図り、 早期整備の促 国道134号 連携を図り、早期整備の促 8 の拡幅整備促 9 D拡幅整備 年10回年10回 機関への要望 年10回 なし 促進 活動 活動 相模川河口から神川 橋までの国土交通省 管理区間の無堤箇 所・弱小堤箇所につ いて、自然環境に配 適切に要望活動を 行っており、成果が 出ている。 目模川の整 流域住 施 相模川の整 民 整 備の促進 相模川の整 備促進 1 相模川の整備 促進 現状維 予算なし 慮した築堤整備を行うことで、水害から 流域住民の生命と財 10 総 Α なし 150 備の促進 産を守り、安全で良 好な生活環境の実現 を図る 近隣市町との 丘隣市町との 国・県・関係 機関への要望 国・県・関係 連携を図り、 早期整備の促 相模川の整備 150 機関への要望 年20回 10 年20回年20回 なし 早期整備の促 備の促進 促進 活動 活動 進要望を行う 進要望を行う 説明会、意見 説明会、意見 説明会、意見 交換会の開催 説明会、意見 交換会の開催 相模川の整 相模川の整備 促進 予算なし 10 交換会の開催 年10回 年10回 交換会の開催 年10回 なし 備の促進 回数 回数 調整会議の開 年5回 予算 なし 目模川の整 調整会議の開 相模川の整備 10 地元調整 年5回 年5回 地元調整 | 4 | 無 | なし 備の促進 相模川整備促進協議 相模川金順促進励語 会会長市として、相 模川の整備促進に関 流域自 する情報の交換、懸 案事項の協議、関係 機関に対する練情、 機関に対する練情、 適切に要望活動を 行っており、成果が 出ている。 目模川整備 1 相模川の整備 促進 現状維 11 総 Α なし 促進協議会に係る事務 120 維持 要望等を図る 会長市(平塚 平成21年度 平塚市、寒川 市)と連携を図り、国・県・関係者へ 平成21年度 相模川整備促進協議 |模川整備 相模川整備促 町と連携を図 相模川整備促 進協議会の開 相模川の整備 促進 会に係る資料作成等の事務処理を臨時職員等で行う 促進協議会 進協議会会長 随時 年5回 り、国・県・ 年10回 120 なし 22 関係者への要望活動の調整 係る事務 市としての展 の要望活動の 催及び事務 望を行う 調整 流域の急激な都市化により土地の利用形態が大きく変化し、 思が入るくと変化し、 自然の保水遊水機能 が低下していること から、台風や集中豪 雨時の雨水放流先で ある河川について、 流域住 民 施 修整備の促 小出川の改修整備の促進 小出川の改 12 総 修整備の促 適切に要望活動を 行っており、成果が 出ている。 3 小出川河川改修事業の促進 未 高 高 高 現状維持 予算なし なし Α 自然環境に配慮した整備の実現を図る 神奈川県との連携を図り、早期整備、河味掘りの要望 神奈川県との 連携を図り、早期整備、河 出川の改 県・関係機関 への要望活動 県・関係機関 3 小出川河川改 修事業の促進 予算なし 不 必 不 不 無 なし 12 修整備の促 年10回 年10回 年10回 への要望活動 床掘削の要望 を行う を行う 説明会、意見 説明会、意見 公司に出る 3 小出川河川改修事業の促進 说明会、意見 説明会、意見 予算 なし 12 交換会の開催 年5回 年5回 交換会の開催 年5回 なし 修整備の促 交換会の開催 交換会の開催 流域の急激な都市化 により土地の利用形 態が大きく変化し、 思かんさく変化し、 自然の保水遊水機能 が低下していること から、台風や集中豪 雨時の雨水放流先で ある河川について、 適切に事務を行って おり、成果が出てい 701 総 Α 修整備の促 自然環境に配慮し 整備の実現を図る

国県事業対策課 課かい名

国県事業対策課 基礎情報 実施計画 平成20年度評価 平成21年度計画 今後の事業展開 事後評価 事務事業 実績 第4次 第5次 活動 決算内訳(千円) 活動 予算内訳(千円) 必要性 事業手法 事業の改善提案 ける課の重点事 (顧客) 活動量・サービス量の達成状況 **当該事務事業** 活動量・サービス量 実施計画 事業名 活動ごとの 事務事業の目的に 事務事業の 実施計画 事業の の取組 事務事業名 体の決算額 予算額 事業名 決算額 する成果の状況 方向性 活動 (合計) 変更の有無 改善の内容 活動指標の名称 目標値 実績値 目標値 66,17 49,657 49,65 66,17 事業No.13 神奈川県との ノ川の改 千ノ川流路整 連携を図り、河床掘削の要 県・関係機関 年5回 701 修整備の促 年5回 備、浚渫事業 への要望活動 (県管理区 間)に記載 説明会、意見 交換会の開催 年3回 Fノ川の改 説明会、意見 701 年3回 修整備の促 交換会の開催 回数 Fノ川の流 河床の堆積土を浚渫 し安定した流路を確 保することで、浸水 被害の軽減を図る。 干ノ川の流 適切に要望活動を 行っており、成果が 出ている。 路整備、浚渫事業(県 路整備、浚渫事業(県 現状維 13 総 Α なし 管理区間) 管理区間) 油奈川県との 神奈川県との 千ノ川の流 連携を図り、 連携を図り、 旦・関係機関 路整備、浚 渫事業(県 県・関係機関 不 必 不 不 無 なし 予算なし 13 **充路整備、新** 年5回 年5回 流路整備、浚 年5回 への要望活動 への要望活動 設工事の要望 渫事業の要望 管理区間) を行う を行う 適切に事務を行って おり、成果が出てい 県立茅ヶ崎里 現状維 5 山公園の外周 道路整備 14 総 18,786 Α 34,671 なし 8571号線:道 路工事施工 8571号 8571号 線:L=14 線:L=11 は、民間委託を行っ 里山公園外 茅ヶ崎里山公 茅ヶ崎里山公 8570号線:埋 8570号 写 県立茅ヶ崎里 山公園の外周 道路整備 ている。また、工事 に伴う事業であり、 14 周道路整備 園の外周道路 18,786 園の外周道路 蔵文化財発掘 線:1,44 34,671 | 図 | 済 | 不 有 有り 事業 の整備を行う の整備を行う 調査 15の工事同様道路 建設課に依頼する。 地域住民及び公園利 用者の利便性と安全 性の向上を図る 地域住 関数 地域住 民及び 公園利 用者 路整備事業 路整備事業 適切に事務を行って おり、成果が出てい 7 北部地域の幹 線道路を除く 道路整備 比部地域道 現状維 15 総 29,435 Α 28,600 なし 路整備事業 8036号 線:L=12 線:L=11 8534号線:道 線:L=16 路工事施工 Om 地元要望道路 8036号線:道 也元要望道路 工事については、道 路建設課に依頼して いる。 北部地域の幹 北部地域道 路工事施工 等の整備のた 等の整備のた 28,600 7 線道路を除く 道路整備 不 必 済 不 有 有り 15 8534号 8534号 29,435 路整備事業 め道路改良工 め道路改良工 8036号 事を行う 用地買収 事を行う 道路工事施工 287.50 54m 目標とした期限まで に事務を行い、成果 が出ている。 北部地域道 現状維 路整備関連 16 総 975 Α 700 なし 8534号 8534号 8571号 線地積測 線地積測 8571号地積 線地積測 用地測量・用 用地測量・用 北部地域道 積測量図作成 量図作成 量図作成 測量図作成 量図作成 5の工事同様、道 8031号 線外3路 線外3路 路整備関連 事務 地維持管理業 務委託 8031号線外 3路線維持管 地維持管理業 務委託 8031号線外 2路線維持管 不 必 済 16 975 700 有 有り 路建設課に依頼す 8031号 維持 線外2路 線2,568線2,568 線1,202 北部地区の自然環境 を生かしたスポーツ、レクリエーション、自然体験、イベント等に利用できる 広域公園の整備を県 に要請し、県立公園 を北部地域活性化の 核と位置付け、整備 を進めている 県立茅ヶ崎 里山公園整 備の促進 適切に要望活動を 行っており、成果が 出ている。 高高高高現状維持 Α なし 県立茅ヶ崎 て神奈川県 て神奈川県 県・関係機関 県・関係機関 不 必 不 不 無 なし 年10回年10回 年10回 里山公園整備の促進 整備促進の 2整備促進の 39 53 維持 への要望活動 への要望活動 要望活動等を 要望活動等を jō.

国県事業対策課

課かい名 国県事業対策課

基礎情報 実施計画 平成20年度評価 平成21年度計画 今後の事業展開 事務事業 事後評価 実績 第4次 第5次 活動 決算内訳(千円) 活動 予算内訳(千円) 必要性 事業手法 事業の改善提案 ける課の重点事 (顧客) 活動量・サービス量の達成状況 **当該事務事業** 活動量・サービス量 実施計画 事業名 活動ごとの 事務事業の目的に対 事務事業の 実施計画 事業の の取組 事務事業名 体の決算額 決算額 する成果の状況 方向性 活動 (合計) 変更の有無 改善の内容 目標値 目標値 活動指標の名称 実績値 49,657 49,65 66,1 66,17 雷柱や雷線の地中 电性や電線の地中化 により、道路の見通 しが改善され、歩行 者が安全で利用でき るように早期整備の 実現を図る 国道1号電 線地中化整 適切に要望活動を 行っており、成果が 出ている。 現状維 予算なし 18 総 Α なし 構の促進 国との連携を 図り、早期整 国との連携を 図り、早期整 国道1号電 線地中化整 国・関係機関 国・関係機関 18 年10回年10回 への要望活動 年10回 なし への要望活動 備の促進要望 を行う 備の促進要望 備の促進 回数 回数 を行う 藤沢大磯線及びさが 中海岸寒川 線の整備促 道路利 用者及 び沿線 住民 中海岸寒川 線の整備促 進 中海岸寒川 線の整備促 進 に 適切に要望活動を 行っており、成果が 出ている。 4 中海岸寒川線 の整備促進 緊急性が高く、要望 活動を拡大する。 なし 19 総 Α 未 高 高 高 拡大 なし 線の整備促進を図る 神奈川県及び 神奈川県及び 中海岸寒川 関係機関との 関係機関との 県・関係機関 県・関係機関 中海岸寒川線 不 必 不 不 無 なし 年10回 年10回 連携を図り、早期整備の促 19 年11回 線の整備促 連携を図り、 早期整備の促 への要望活動 への要望活動 の整備促進 進要望を行う 進要望を行う 神奈川県及び 神奈川県及び 中海岸寒川 関係機関にお 関係機関にお 勉強会の開催 回数 年5回 勉強会の開催 回数 中海岸寒川線 の整備促進 予算なし 不 必 不 不 無 なし 年5回 19 線の整備促 1て早期推進 年5回 1て早期推進 かための勉強 のための勉強 会を開催する 会を開催する 遠藤茅ヶ崎 20 満藤茅ヶ崎 線の歩道整 備促進 高田ニュータウン入 口からさがみ農協小 出支店付近の区間に 歩道を段電し、歩行き 者が安全で利用整備の 実現を図る 歩道利 用者及 施 び沿線 整 住民 適切に要望活動を 行っており、成果が 出ている。 現状維 予算なし Α なし 神奈川県及び 神奈川県及び 遠藤茅ヶ崎 関係機関との 関係機関との 県・関係機関 不 必 不 不 無 なし 予算なし 20 連携を図り、早期整備の促 年5回 連携を図り、早期整備の促 年5回 年5回 線の歩道整 への要望活動 への要望活動 備促進 進要望を行う 進要望を行う 生活を支える基盤として国道等道路の重要性についるとともに、国道事業等の円滑かつ着まことにより魅力ある地域では会と 2 さがみ縦貫道路及び藤沢大磯線の整備促 賛同す る市区 町村 適切に要望活動を 行っており、成果が 出ている。 関東国道協 現状維 21 微 なし 40 Α 40 豊かな生活の実現を図る さがみ縦貫道 協議会の参加 協議会の参加 関係機関への 要望活動 関係機関への 年5回 関東国道協 路及び藤沢大磯線の整備促 21 及び負担金の 年5回 年5回 及び負担金の なし 維持 地域団体が実施団体 となり、市及び河川 管理者である県が協 力で、河川美化活 動を図る 適切に美化活動を 行っており、成果が 出ている。 小出川河川 美化活動 3 小出川河川改 修事業の促進 予算なし 現状維 22 # Α なし 也域団体が行 対団体が行 関係団体との 連絡窓口やご み収集協力 関係団体との 連絡窓口やご み収集協力 年8回 小出川河川 う草刈り清 う草刈り清 地域団体が行う河川 3 小出川河川改 修事業の促進 22 | 地球団体が行う河川 予算 美化活動の支援を臨 時職員等で行う 22 美化活動の 促進 掃、植栽草花 河川美化活動 年8回 年8回 掃、植栽草花 河川美化活動 なし の支援を行う の支援を行う

国県事業対策課

課かい名

国県事業対策課

基礎情報 実施計画 平成20年度評価 平成21年度計画 今後の事業展開 事務事業 実績 事後評価 第4次 第5次 活動 決算内訳(千円) 活動 予算内訳(千円) 必要性 事業手法 事業の改善提案 ける課の重点事業 当該事務事業 全体の決算額 (合計) 活動量・サービス量 (顧客) 実施計画 事業名 活動量・サービス量の達成状況 活動ごとの 事業の 方向性 事務事業の 目的・成果 実施計画 事業名 事務事業の目的に対 の取締 事務事業名 決算額 する成果の状況 活動 改善の内容 活動指標の名称 目標値 実績値 活動指標の名称 49,657 49,657 66,17 66,17 地域住民、企業等が 実施団体となり、市及び道路管理者であ 地域住 政る国土交通が協力し 民 策 国道の道路 美化活動の 適切に美化活動を 行っており、成果が 出ている。 高高高 現状維持 予算 なし Α なし 促進 地域団体、企 業等が行う歩 地域団体、企 業等が行う歩 済 無 なし 22 地域団体、企業等が 行う道路美化活動の 支援を臨時職員等で なし 行う 道清掃、除 草、花の管理 等道路美化活動の支援を行 関係団体との 連絡窓口やご み収集協力 道清掃、除 草、花の管理 等道路美化活 関係団体との 連絡窓口やご み収集協力 国道の道路 美化活動 年20回 年20回 23 年20回 動の支援を行 23 23 (仮称)緑が浜第二 横断歩 道利用 道利用 音及び 童の通学時の安全確 保を図る 県道戸塚 茅ヶ崎線横 断施設の促 適切に美化活動を 行っており、成果が 出ている。 予算なし 現状維 24 総 Α なし 神奈川県及び 県道戸塚 関係機関との連携を図り、早期整備の促 関係機関との 宗旦戸塚 茅ヶ崎線横 断施設の促 県・関係機関 への要望活動 県・関係機関 への要望活動 年10回 予算 なし 不 必 不 不 無 なし 24 年10回年10回 連携を図り、 早期整備の促 進要望を行う 進要望を行う 多くの人に北部地区 (芹沢)へ来てもら い、北部のまちおこ し・活性化を図る 北部地区活 性化事業 9 北部地区活性 化事業 北部地区活 市民 政策 現状維 25 総 1,795 維持 生化事業 花の会との協 働事業で北部 地区の活性化 北部地区活 1,795 9 北部地区活性 化事業 25 事業実施回数 年24回 維持 済 無 なし 性化事業 を支援する。